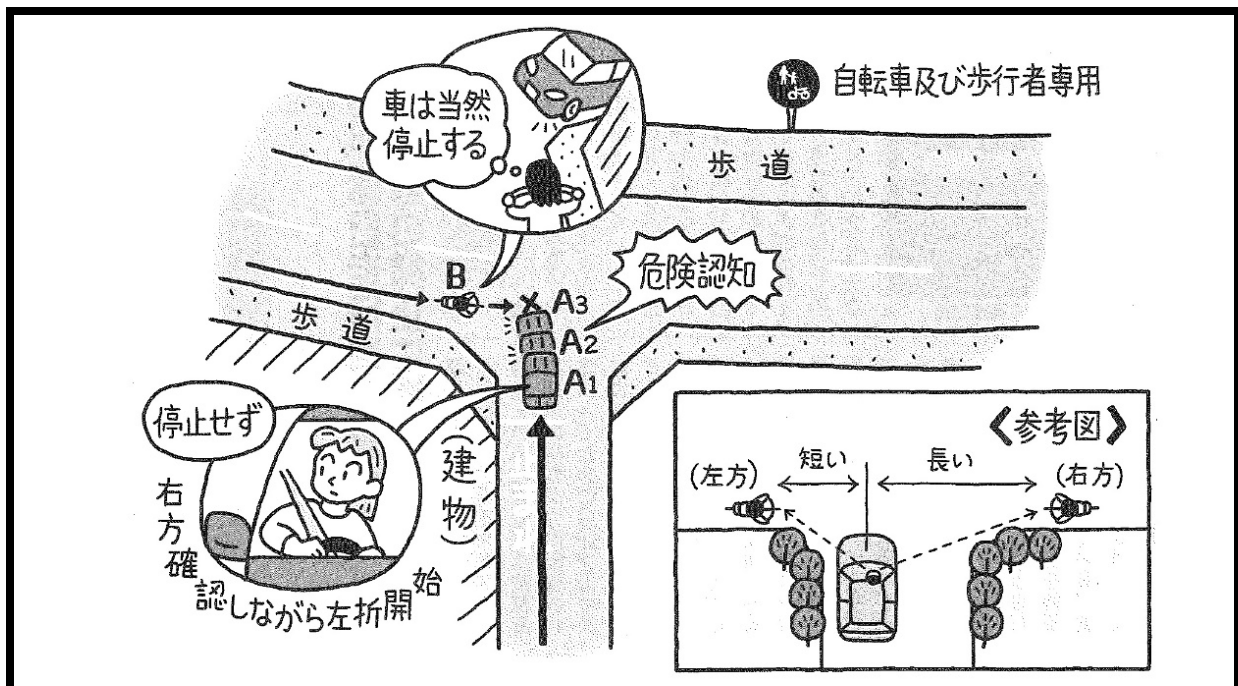


■ 事故の概況



事故類型：出会い頭

発生日時：金曜日 午前中

当事者A：普通乗用車 20歳代 女性

当事者B：自転車 20歳代 女性

■ 事故の概要

Aは学校へ向かう途中、一時停止規制のあるT字路交差点に差し掛かりましたが、いつも通る道なので、停止せず徐行のまま交差点に進出し、右方の安全確認をしながら左折しようとしていました。その直前に左方車道から右側通行してきたB車を発見し、急ブレーキを踏みましたが間に合わずB車の右側と衝突しました。

一方Bは往復2車線道路の右側を走行中、T字路交差点で右方から進入してきたA車を発見しましたが、A車は当然停止するものと思い込み、そのまま通過しようとしたところ、直前で相手が進行してきたことに気づきましたが避ける間もなく衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

この事例の原因はAが一時停止を怠り安全確認をしなかったことにあります。しかしBが車道右側を走行したこと、A車に気づきながら相手が停止すると思い込みそのまま通過しようとしていたことも安全意識の不足といえます。

一般的に車両は交差点で左折しようとするとき、交差路の右側からの走行車両に注意を向けてしまい、左方からの歩行者や自転車、左方交差路からの右折車両などに気づかないことがあります。自転車の右側通行はルール違反というだけでなく、相手から認知されにくいことを自覚する必要があります。